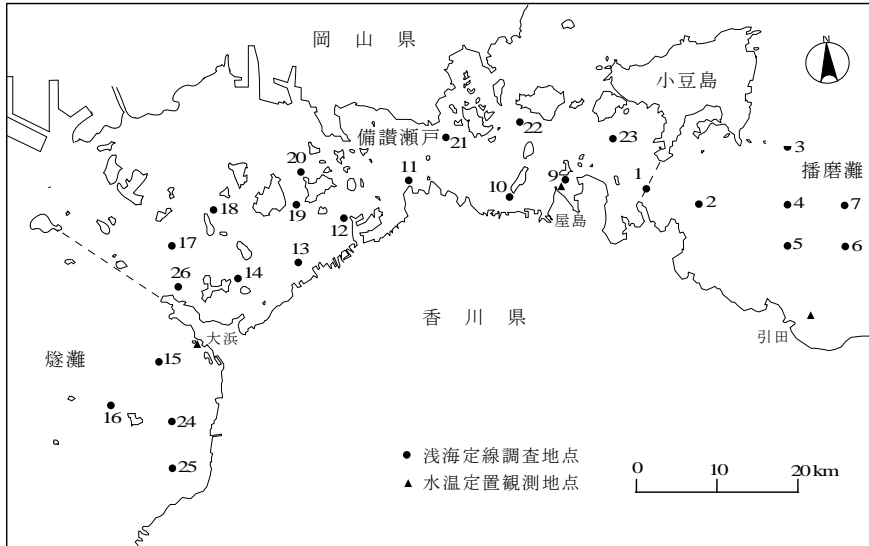


# 香川県漁海況情報 平成 27 年 7 月 (H27-4 号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成 27 年 7 月 1 日 (播磨灘), 7 月 2 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「やや高め」、塩分は「やや低め」から「平年並み」、透明度は「平年並み」から「やや高め」、溶存酸素は「著しく低め」から「やや高め」であった。

7月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	21.5	21.3	19.8	31.3	31.6	31.9	10.1	4.86	4.14
	平年値	22.3	20.7	18.7	31.7	31.9	32.2	8.0	5.09	3.91
	平年偏差	-0.8	0.7	1.1	-0.4	-0.3	-0.2	2.2	-0.23	0.24
	標準偏差(σ)	1.3	0.9	1.3	0.7	0.5	0.4	2.8	0.43	0.61
	状況	平年並み	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや低め	やや高め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	21.4	21.1	21.5	31.6	31.7	31.7	5.6	4.56	4.43
	平年値	21.7	21.1	20.8	31.8	32.0	32.1	4.3	4.64	4.40
	平年偏差	-0.3	0.1	0.8	-0.2	-0.3	-0.4	1.2	-0.08	0.03
	標準偏差(σ)	1.3	1.2	1.4	0.9	0.7	0.7	1.4	0.42	0.33
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	23.0	20.7	18.6	32.0	32.3	32.5	9.8	3.96	4.51
	平年値	23.7	21.0	19.3	31.6	32.6	32.9	9.6	5.19	3.82
	平年偏差	-0.7	-0.4	-0.6	0.5	-0.3	-0.4	0.1	-1.22	0.68
	標準偏差(σ)	1.7	1.5	2.1	1.0	0.5	0.4	3.8	0.47	0.57
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	平年並み	著しく低め	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 56 年 (1981) 1 月～平成 22 年 (2010) 12 月

溶存酸素：昭和 56 年 (1981) 2 月～平成 22 年 (2010) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み  $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$  : 標準偏差)

やや高め (やや低め)  $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め)  $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め)  $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

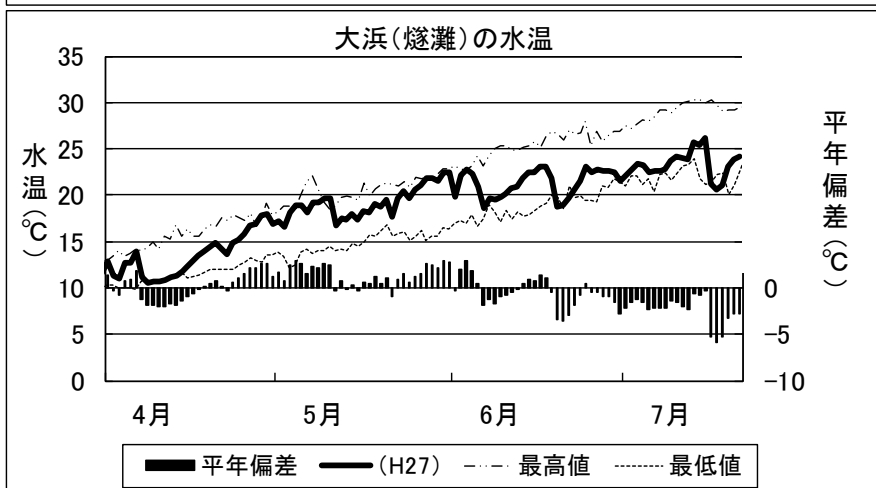
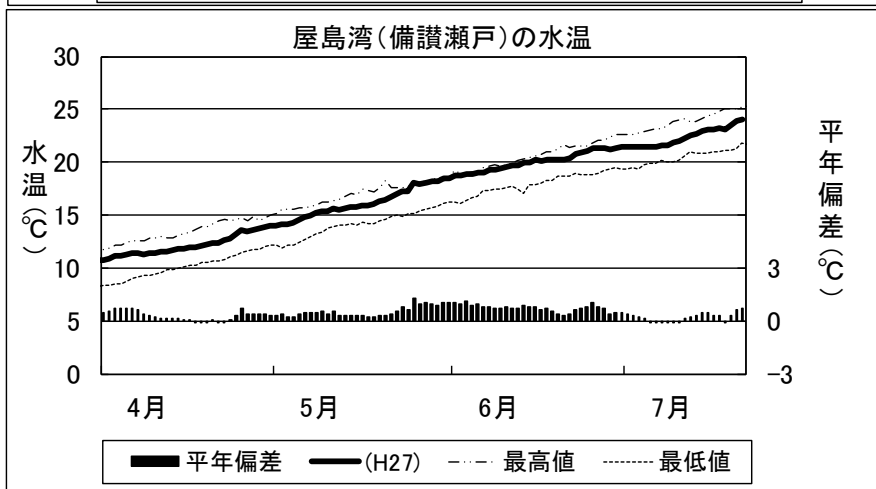
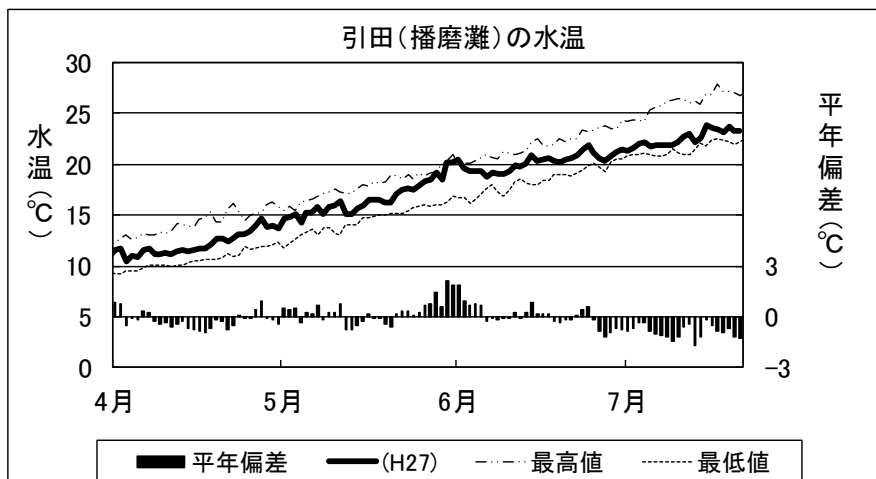
### 3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 4月は平年並み, 5月は平年並みから著しく高め, 6月は著しく高めからやや低め, 7月は平年並みからやや低めで推移している (6月上旬に1日, 過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 4月はやや高めから平年並み, 5月は平年並みからかなり高め, 6月はやや高めからかなり高め, 7月は平年並みからやや高めで推移している (5月下旬に1日, 過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 4月は著しく低めから著しく高め, 5月は著しく高めから平年並み, 6月はかなり高めから著しく低め, 7月は平年並みから著しく低めで推移している。(6月下旬に2日, 7月中旬に3日, 過去最底値を, 4月下旬に2日, 5月上旬に3日, 下旬に1日, 6月上旬に1日, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 26 (2014) 年  
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 26 (2014) 年



#### 4) 赤潮 (7月1日～7月28日)

播磨灘：7月6日に播磨灘南西部で *Noctiluca scintillans* による赤潮が確認された。  
 備讃瀬戸：7月1～3日に高松港内で *Heterosigma akashiwo* による赤潮が確認された。  
 燧灘：発生無し

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成27年7月1日(播磨灘)，7月2日(備讃瀬戸，燧灘)

出現量

－：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

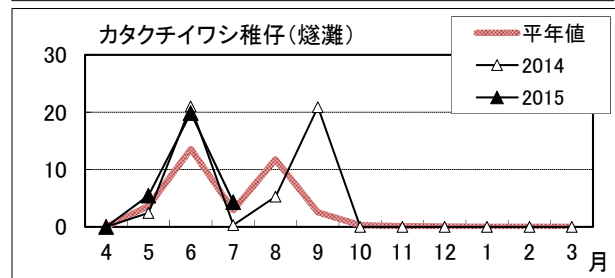
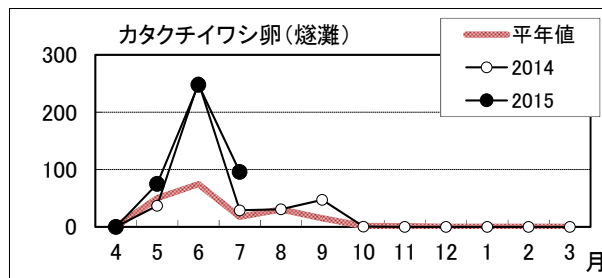
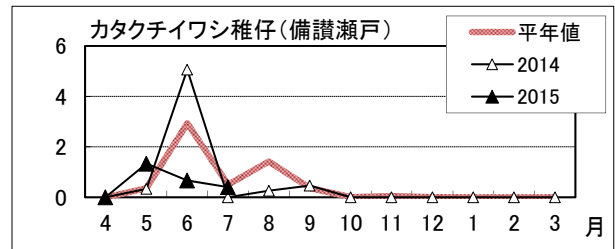
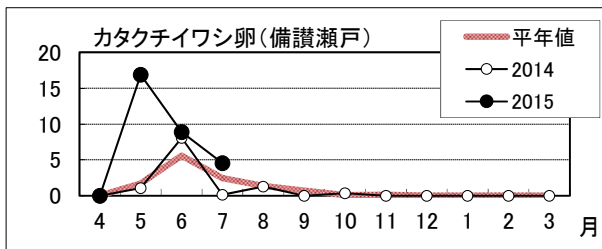
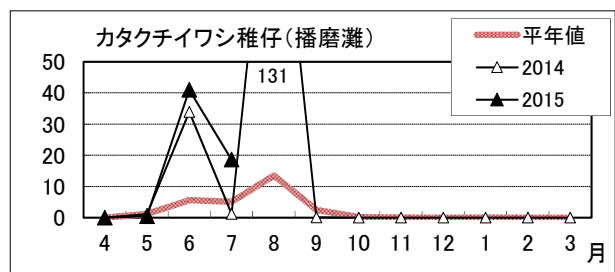
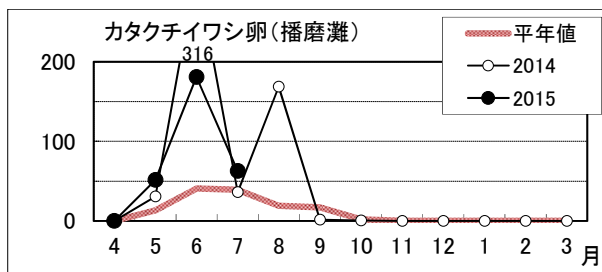
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成26(2014)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成26(2014)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	62.5	18.6	0.0	0.0	41.6	23.9
	平年値	39.2	5.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	159.3	362.5	－	－		
備讃瀬戸	平均値	4.5	0.4	0.0	0.0	12.1	1.5
	平年値	2.5	0.5	0.0	0.0		
	対平年(%)	184.5	79.4	－	－		
燧灘	平均値	95.9	4.3	0.0	0.0	11.4	0.9
	平年値	17.3	2.9	0.0	0.0		
	対平年(%)	555.3	147.3	－	－		
総平均	平均値	41.3	6.2	0.0	0.0	19.8	7.3
	平年値	15.7	2.3	0.0	0.0		
	対平年(%)	263.3	268.4	－	－		

\*マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されていません。



## 2. 漁況

### 1) 6月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、マダイ、アカカマス、コノシロ、シログチ、メイタガレイ、イヌノシタ、タマガンゾウビラメ、マルアジ、イボダイ、ハモ、マダコ、ベイカ、小エビ類などが漁獲されている。</p> <p>柵網では、マルアジ、マアジ（小型）、マイワシ、マサバ、コノシロ、マダイ、スズキ、ウマヅラハギ、ハモ、メイタガレイ、イボダイ、アイゴ、ツバス、アカカマス、タチウオ、シログチ、ボラ、アカエイ、テンジクダイ、マダコ、シリヤケイカなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、カサゴ、メバル、マダイ、キジハタ、マコガレイ、メイタガレイ、キュウセン、マゴチ、オニオコゼ、ウマヅラハギ、イヌノシタ、サザエ、アカニシなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では、メイタガレイ、コウライアカシタビラメ、ヒラメ、セトウシノシタ、マダイ、クロダイ、マアナゴ、ハモ、マルアジ、コノシロ、メバル、オニオコゼ、セトダイ、シロギス、キュウセン、コイチ、ネズッポ類、マゴチ、ナシフグ、シロギス、トラギス、ボラ、アカエイ、テンジクダイ、マダコ、ベイカ、ジンドウイカ、ハリイカ、アカニシ、クルマエビ、小エビ類、ガザミなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では、マコガレイ、メイタガレイ、イヌノシタ、アカカマス、オニオコゼ、マダイ、クロダイ、シマイサキ、マルアジ、エソ、キジハタ、シロギス、テンジクダイ、ネズッポ類、ハモ、ボラ、マゴチ、マダコ、ヒメジンドウイカ、ガザミ、クルマエビ、小エビ類などが漁獲されている。</p> <p>建網では、アイナメ、ウマヅラハギ、キジハタ、クロダイ、スズキ、タチウオ、メバルなどが漁獲されている。</p>
香川県全域 (サワラ)	<p>さわら流しさし網は、4月20日から春漁が開始され、6月末ではほぼ終了した。</p> <p>香川県魚市場（株）におけるサワラ銘柄の6月30日までの合計尾数は63,696尾で、平成26年（90,353尾）と25年（49,784尾）の中間よりやや少なかった。サゴシ銘柄の合計尾数は4,406尾で、26年（4,352尾）と同程度で、25年（9,114尾）の半分であった。</p> <p>主要6漁協の漁獲量は206トンであり、26年と25年の中間であった。この漁獲量は例年、県全体について集計した漁獲量の4～5割を占めていることから、27年春漁の県全体の漁獲量は450～500トン程度になるのではないかと推定される（26年588トン、25年445トン）。</p> <p>漁獲の主体は2歳魚と3歳魚であった。3歳魚のサイズの幅が広く、サワラ銘柄の小型魚のうちには3歳魚もかなり含まれていたと考えらえる。</p>

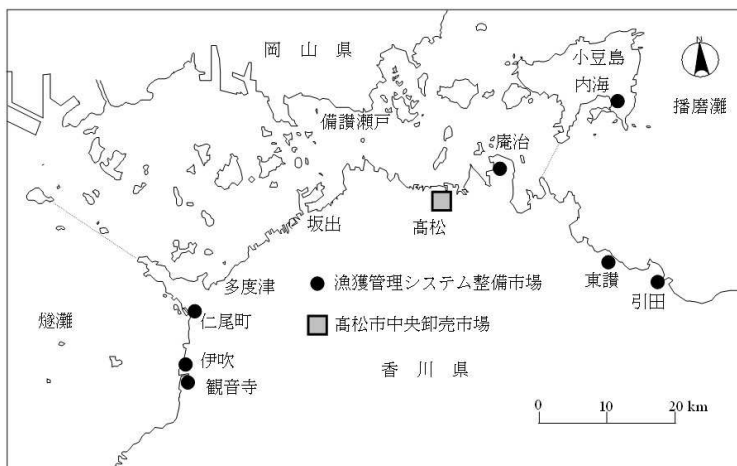
## 2) 香川県の漁獲情報

### (1) 漁獲管理 (TAC) システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした漁獲情報システムで、本県では以下の産地市場に整備している。

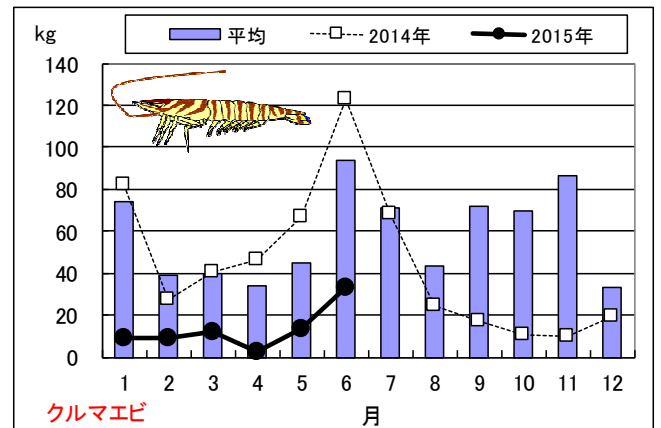
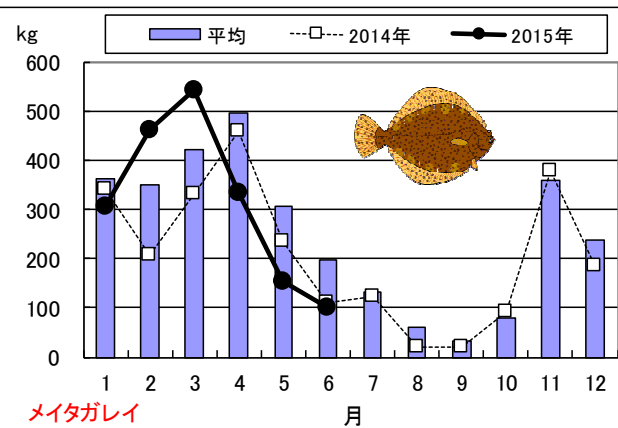
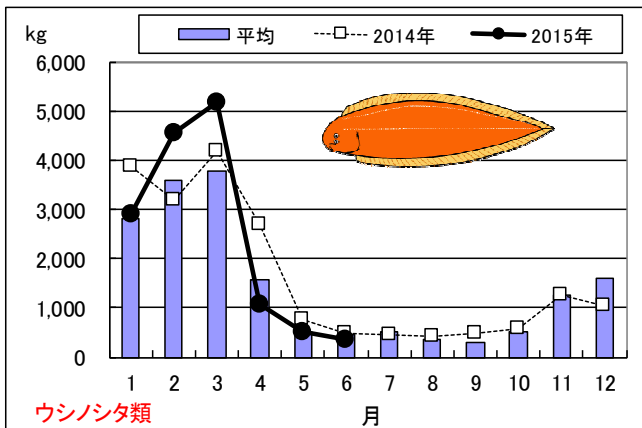
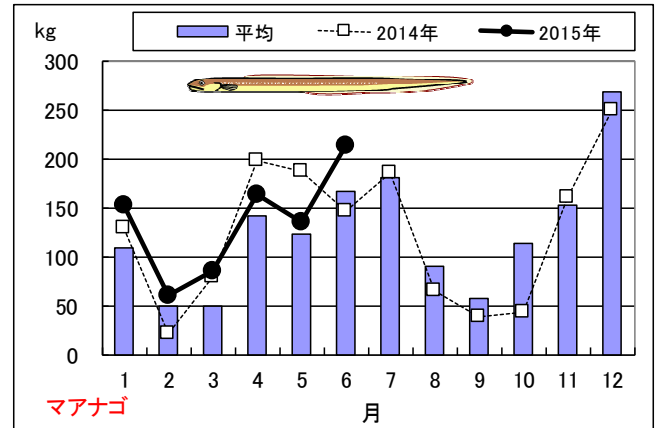
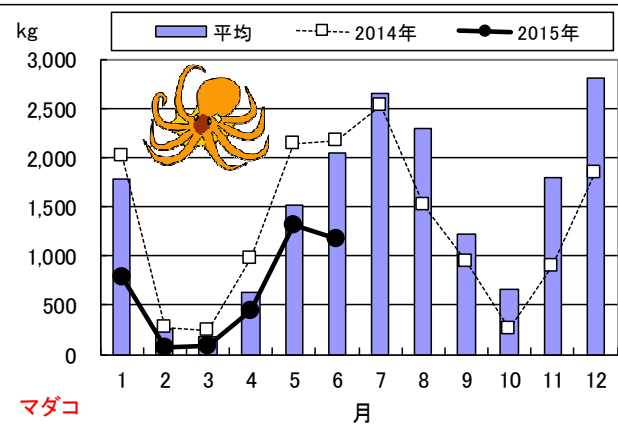
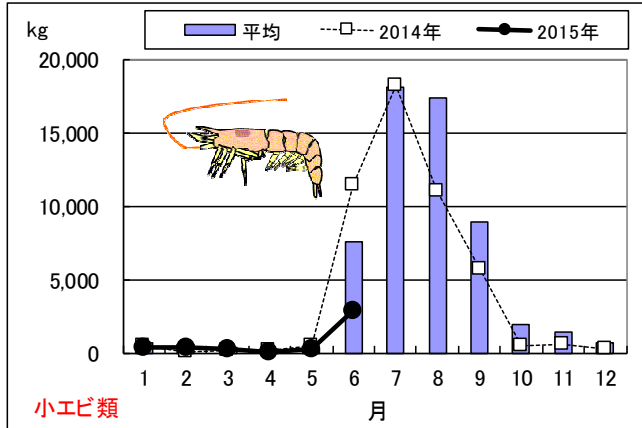
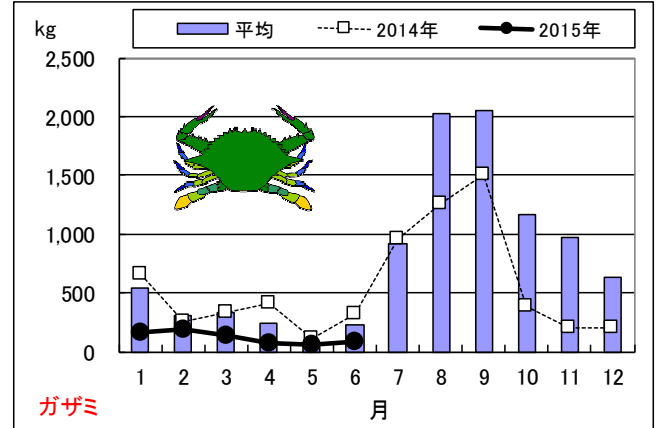
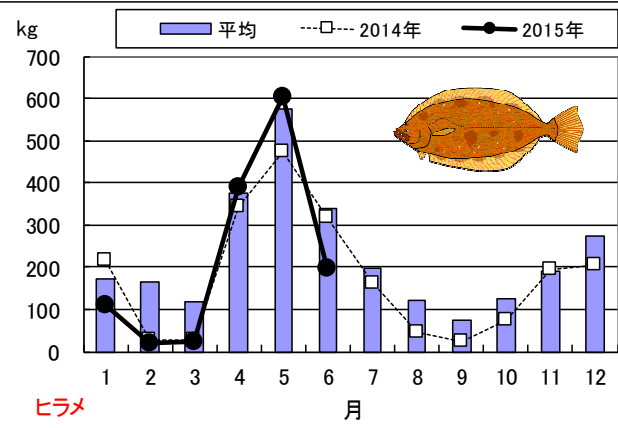
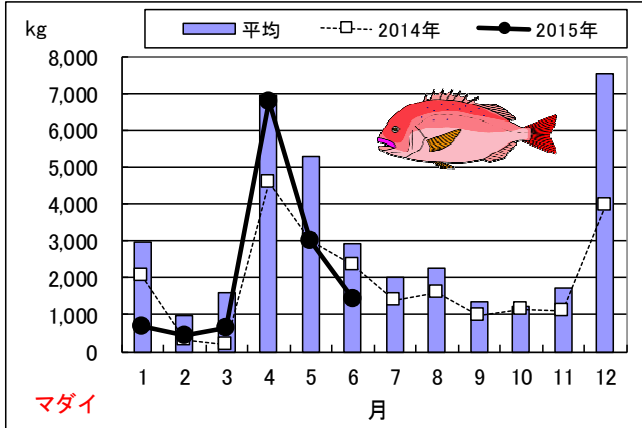
### (2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物(香川県全体からの集荷物)について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。



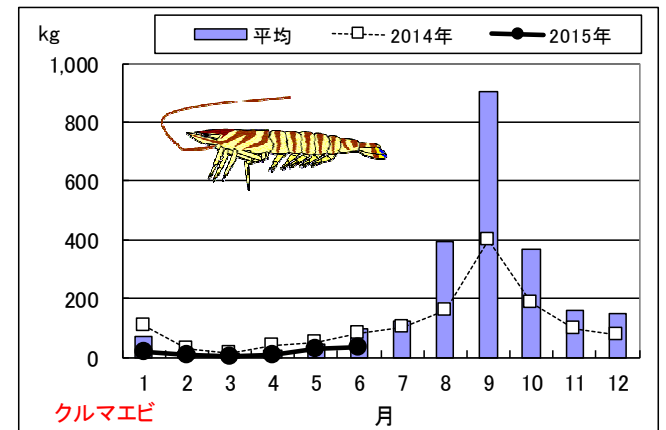
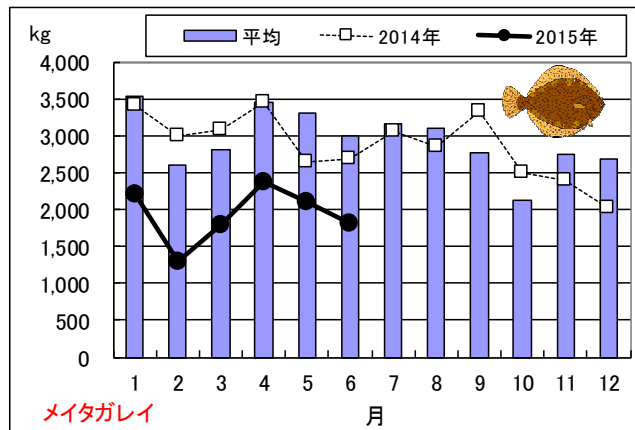
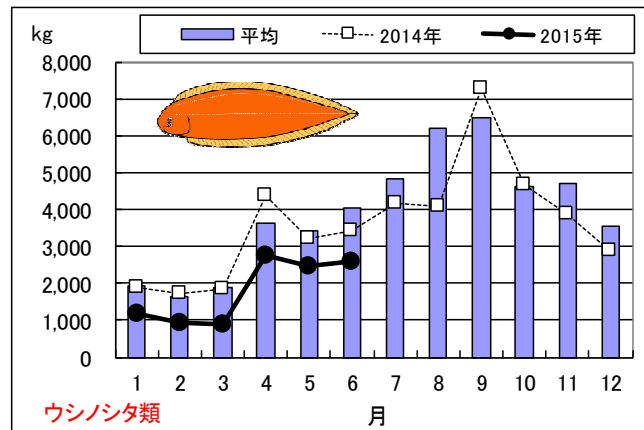
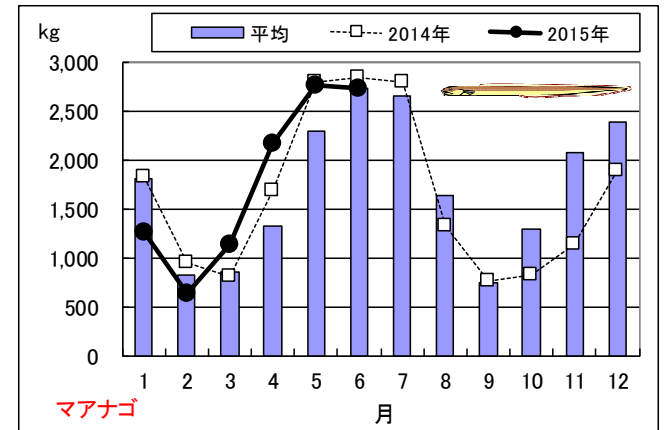
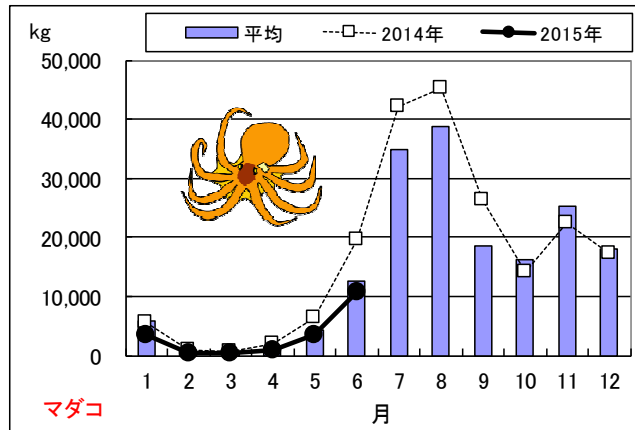
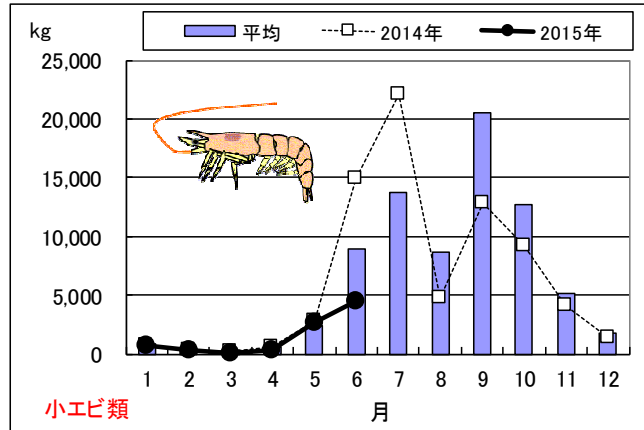
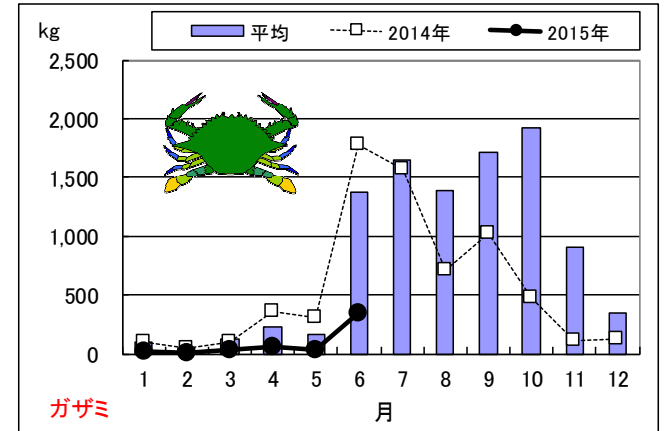
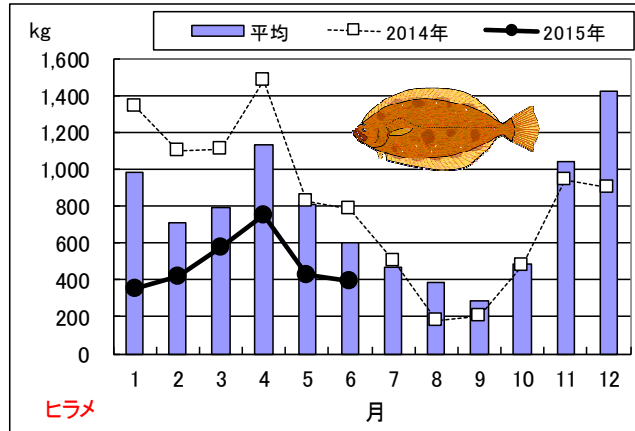
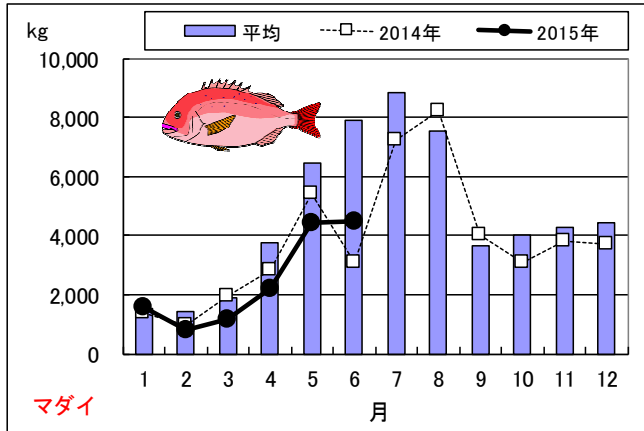
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2010年から2014年の5年間の平均。



備前瀬戸（庵治） TACシステムデータより

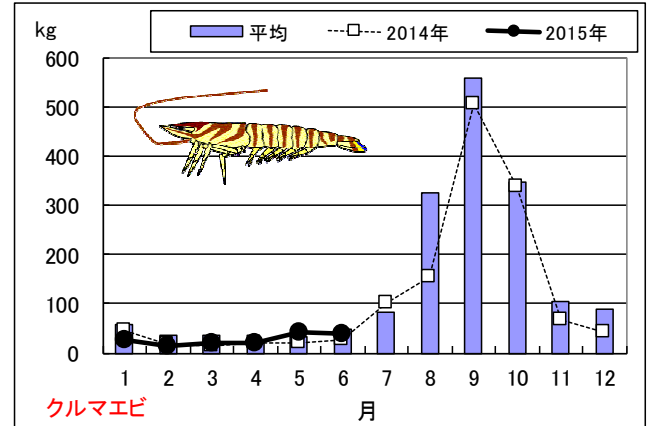
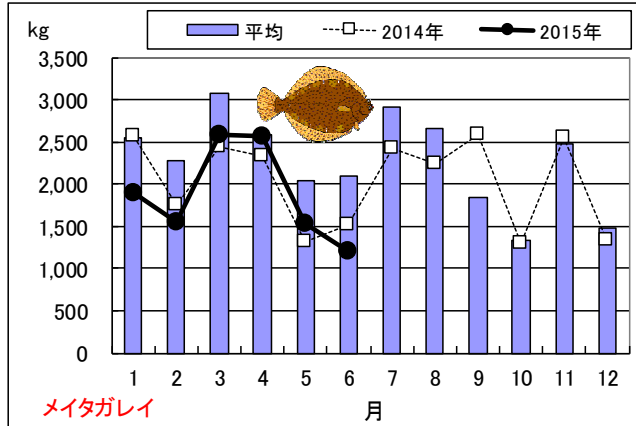
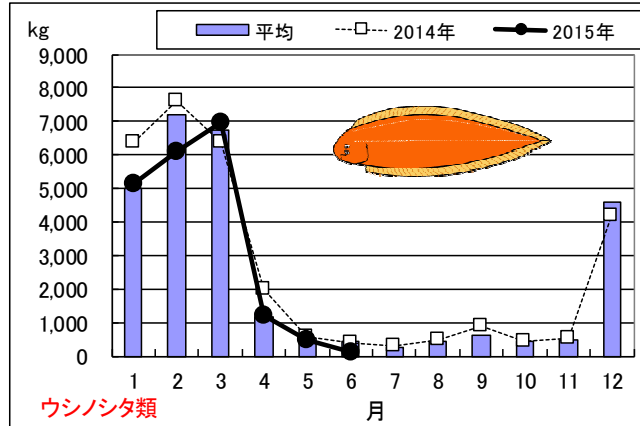
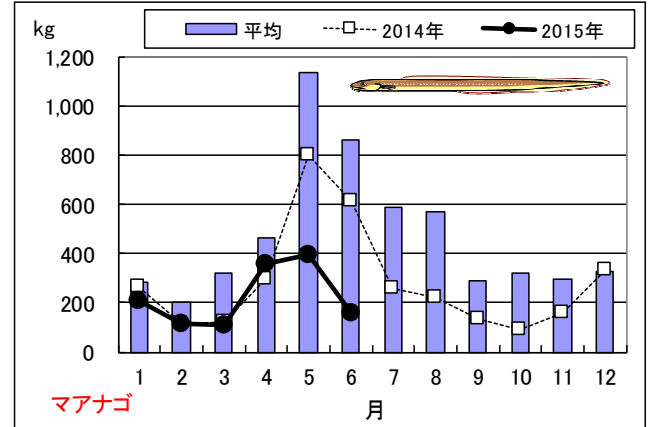
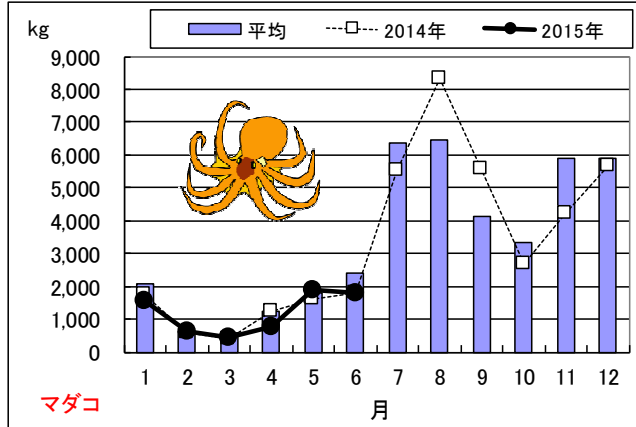
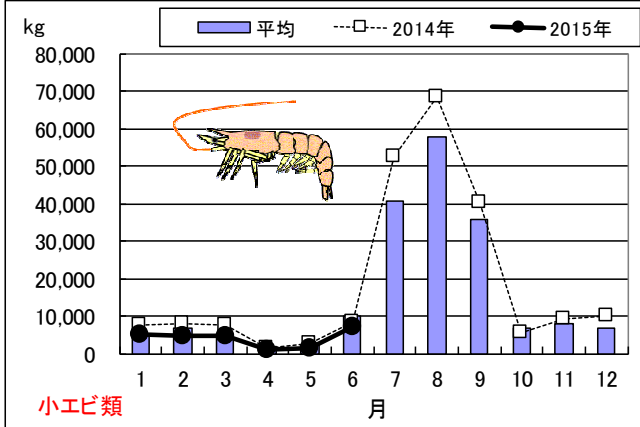
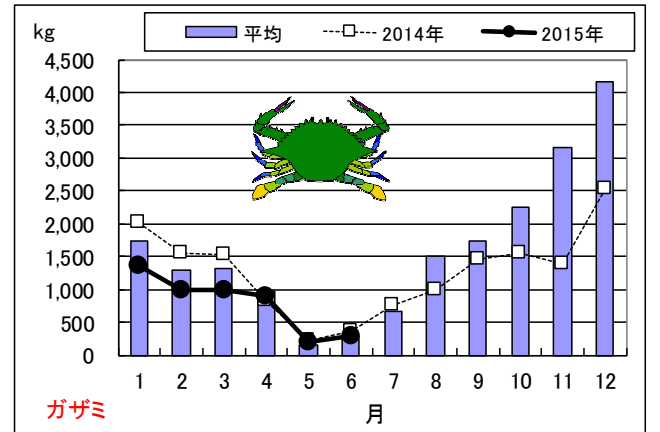
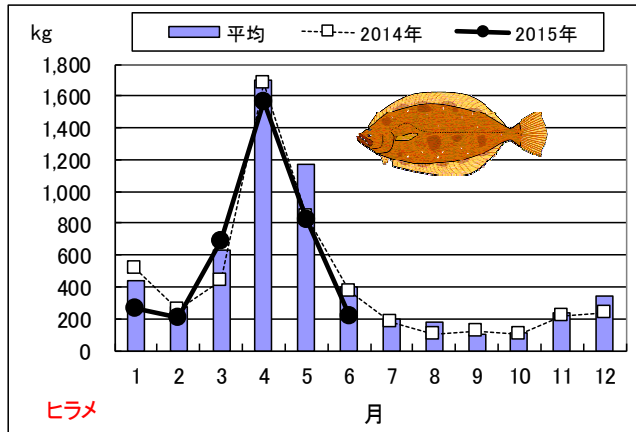
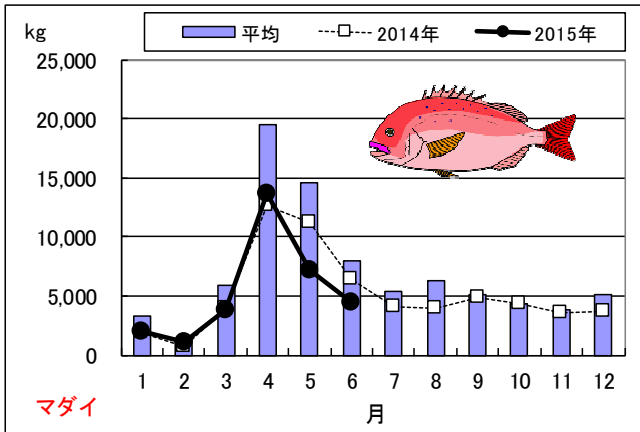
平均値は、2010年から2014年の5年間の平均。



燧灘（仁尾町+観音寺+伊吹） TACシステムデータより

※2015年6月は仁尾町を含まない

平均値は、2010年から2014年の5年間の平均。





高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

2010年から2014年の5年間の平均値についてはデータ整理中

